

# 具体的な支援カリキュラム

## DX推進者

先端技術やデータ活用を踏まえた事業モデルを経営視点で創出・運営できる

## 一般スタッフ

データ活用スキルを持ち、効率的に自身のタスク遂行ができる

## データ分析実務者

ビジネス課題に対し専門知識とスキルを駆使し専任でデータ分析業務を遂行できる

### STEP1 重要性の啓蒙

- ・データ活用に取り組む重要性の啓蒙/文化醸成
- ・2～3時間ほどのデータ活用セミナーを受講
- ・データ活用に関する事例やデータ分析・統計の基本コンセプトを習得

### STEP2 基礎知識の習得

- ・統計知識に基づき統計データを解釈、データ解析するための基礎知識を習得
- ・e-learningコンテンツ受講
- ・統計検定2級取得
- ・学習理解度を測る理解度テスト受講
- ・PPDACサイクルのフェーズに対応したコンテンツを提供

### STEP3 実践・活用

- ・習得した知識を、実業務で使えるスキルに昇華
- ・実践スキル向上を目的とした対面研修を定期的実施し、よりビジネスに実用的なスキルを習得
- ・データサイエンスの習得
- ・実践できるプログラム受講

- ・専門的な統計学/機械学習などのデータサイエンスの習得
- ・データサイエンティスト入門講座の受講
- ・企業課題に特化したカスタマイズ研修の実施
- ・自社ビジネスの課題に応じたカスタマイズ研修を通じた専門的な実践力の習得

# 某メガバンク様 全行員向けに実施した「データ分析の民主化」に向けた人材育成

## 人材育成の対象

**全行員が対象**



## 人材育成の目的と方針

- 一般社員がデータ活用できる下地を作り上げること
- データ活用の民主化にむけ全社的なリテラシアップを目指す
- データサイエンティスト協会が定める基準に基づき学習項目を選定し、行内リテラシーの向上と基礎スキルの習得を支援

# 某メガバンク様 全行員向けに実施した「データ分析の民主化」に向けた人材育成

## コンフォートゾーンを超えるためのスキル要件を定義

データサイエンティスト協会が定義しているデータサイエンティストのスキル定義から  
行内で求められる知識・スキルとして**69項目**をリストアップ

### 説明的分析

記述統計量、データの可視化（ヒストグラム、散布図、折れ線グラフ …etc）  
相関関係と因果関係、統計的仮説検定 …

### 予測的分析

教師あり学習、教師なし学習の概要、回帰分析の仕組みと活用、ダミー変数  
過学習、統計モデルの評価と活用、時系列解析のアルゴリズム …etc

### データ活用の 基礎知識

PPDACサイクル（課題の設定とデータ分析のプランニング、データ収集 など）  
データ加工（外れ値、異常値、欠損値の処理）、標準化などのスケール処理 …etc

### データ解釈

データの可視化における注意点、適切な層化処理、グラフの選択と解釈上の注意点

### 法令・倫理

データ活用において守るべき倫理や個人情報の保護、GDPRなどの海外の法令  
知的財産権としての取り扱いやデータの収集に係る様々なリスクマネジメント …etc

# 某メガバンク様 全行員向けに実施した「データ分析の民主化」に向けた人材育成

## 1 分析・統計の基礎知識習得に向けた e-learningを企画・制作し実施

e-learningの特徴（統計検定2/3級レベルに該当）

1. 実際の分析プロセス（PPDACサイクル）に沿った内容構成
2. 初学者に配慮した極力数式を使用しないグラフィカルなスライドによる解説
3. 発展的な内容を補足するためのAppendix

コンテンツオープン時には  
1,500名が受講！

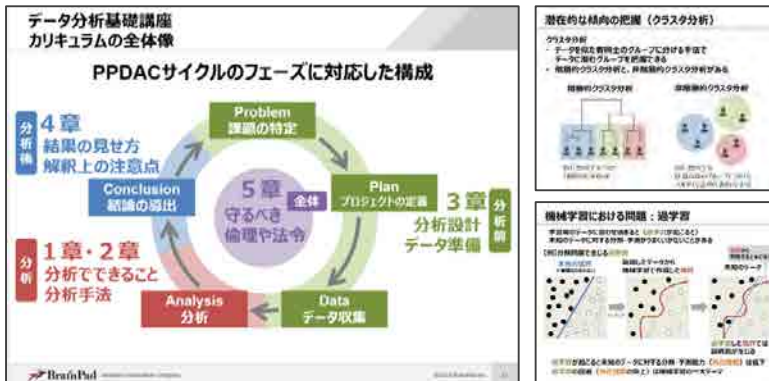
## 2 学習の習熟度を測る 理解度テストを受講

e-learningの理解度把握のための確認テストを制作。  
現場での使用を意識した問題と、解説の充実により、  
高い学習効果を実現。

## 3 実践スキル向上のための 対面研修の実施

座学だけではなく、実践形式の演習を組み込んだ対面研修で分析プロセスを実体験し、学んだ知識の定着を図る。株価の分析など、銀行業務の現場で使える「時系列解析」を盛り込み、実ビジネスで活用可能なスキルを習得。

98.9%  
の満足度



某大手生保様

「データ」は全社で活用する時代へ カギになるデジタル人材育成支援

## 人材育成の対象

**部署・担当業務を  
横断した有志  
100名**



ビジネスとデータ分析のブリッジ人材

## 人材育成の目的と方針

- 特定の分析担当者だけでなく、現場で日々活動している、業務ドメインに通じた社員も巻き込んだデータ活用体制を構築することが必須
- あらゆる社員がデータに関する基礎知識と活用に向けたマインドセットを獲得することが効果的なデータ活用を進める前提条件

# 某大手生保様

## 「データ」は全社で活用する時代へ カギになるデジタル人材育成支援

### 1 ブリッジ人材向けの（100名） データサイエンス基礎研修を実施

1. **ビジネス視点で見たときに、AI/機械学習の技術**をどう適用できるかを解説
2. データ活用を考える際の**フレームワーク**や、気を付ける点を提示
3. 初学者に配慮した**極力数式を使用しない**グラフィカルなスライドによる解説
4. 座学だけではなく、実際に**分析プロセスを追体験する演習も用意**



実施後アンケートで**業務に積極的に活かしたいコメント多数**

### 2 アクチュアリー職向けの（20名） データサイエンス基礎研修を実施

アクチュアリー職向けに、よりデータサイエンスに踏み込んだ**統計解析**や**データベース言語の演習**、**実務を想定した総合演習**を実施

### 3 新卒2年目向け（220名） データサイエンス基礎研修を実施

身近な業務課題や問題に対して、エクセルを活用して、データに基づく**問題解決プロセス**を定義し、集計・可視化によって課題を特定、**解決策を導くためのスキルを習得**

**80%!**  
の満足度

# 人材育成を加速させるためには DX推進部門と人事部の役割分担と連携が必須

## DX推進部門

DX戦略方針  
データ基盤の方針  
人材育成の方針  
必要スキルの定義  
パートナー選定  
研修のローンチ



## 人事部

育成対象者の選定  
長期的な育成プラン策定  
研修運営のオペレーション  
研修ブラッシュアップ

**まずはDX推進部署で方針や必要スキルを定義し  
研修が拡大する際に人事部が主幹に**



## **株式会社ブレインパッド**

〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3F

TEL : 03-6721-7002 FAX : 03-6721-7010

[www.brainpad.co.jp](http://www.brainpad.co.jp) [info@brainpad.co.jp](mailto:info@brainpad.co.jp)

本資料は、未刊行文書として日本及び各国の著作権法に基づき保護されております。本資料には、株式会社ブレインパッド所有の特定情報が含まれており、これら情報に基づく本資料の内容は、御社以外の第三者に開示されること、また、本資料を評価する以外の目的で、その一部または全文を複製、使用、公開することは、禁止されています。また、株式会社ブレインパッドによる書面での許可なく、それら情報の一部または全文を使用または公開することは、いかなる場合も禁じられております。